

て意見交換されました。頑張つて進めたいという機運の集まりになりました。

3月「ころざしの会理事会」が開かれ、「ころざしの会」でも制作・上映運動に参加していくことを確認しました。

「伊藤千代子の生涯」

映画をつくる諏訪の会



諏訪地方での取り組み

諏訪地方での制作・上映を進める「映画をつくる諏訪の会」結成され、役員として、代表 木嶋曰出夫、事務局責任者 藤森守を選出しました。参加者が呼びかけ人となり、制作・上映運動を進めることができ話し合われ、次回5月会を開き、に具体的な進め方を決めていくことになりました。

昭和の初め、戦争に向かう暗黒の時代にまつとうに生きようとした伊藤千代子（諏訪市出身）の生きざまに光を当てる藤田廣登著書原案、桂壯三郎監督による映画。映画の制作・上映運動が広がっています。機密保護法、安保法制、ジェンダー平等。現在の問題に問い合わせています。

3月末には全県的な制作・上映運動の組織がつくられ諏訪地方からは木嶋曰出夫さん、藤森守（「ころざしの会会長」）が役員に選出され、全県的な運動が始まっています。諏訪市で墓参、顕彰碑訪問・懇談会が開かれ、懇談会では参加者それぞれが伊藤千代子、映画に対する思いが発言され、期待高まる集まりになりました。

全県的な運動の中で、諏訪市でも2021年2月映画製作・上映運動を進めるための集まりが持たれました。この集まりで、制作・上映についての期待、目標について

2021年10月クラシックイン、2022年3月クラシックアップの日程が決定されています。

墓参、顕彰碑訪問・懇談会に映画への出演が決定して
いの元劇団前進座幹事長嵐圭史さんが参加されました。
嵐さんの激励あいさつを紹介します。

「うを生れる、若もあなたへ

嵐 圭史

（いにしへしつつ たふれし少女よ）

新しき 光の中におきて思わむ

アララギ派の重鎮であった歌人土屋文明がわが教え
子の母校、東京女子大の「清き世をねがふ少女」^{おとめ}らを前
に、烈々と詠んだ六首の詩を、私自身の魂に触れていま、
若き君や、あなたに、届けたい。あなた方の鋭き感性は、
「ただ素直に」受け止めてくれるであろうから。

言論の自由なき暗黒の時代に、捕らえられ、過酷な拷
問にたえぬいたとき、ともに闘ってきた愛しの夫の、権
力への屈服を知る。狂わんばかりに懊惱し、心身燃え尽
きようとも、眞実の路をつらぬいて獄死した伊藤千代子。

そのとき、「おひ女」の、花の二十四。

いま、伊藤千代子の映画化が進められている。現代に
生きる君の、あなたとの、若き潮流でもすればれるに違い
ないこの映画は、未来社会への扉を開き、その道に光を
当てる。時代が求めているからだ。

その映画の成功に向けて、及ばずながら私も、微力を
つくしたい。

